

22. フジキ (ヤマエンジュ) (納戸のフジキ)



直径 78 cm



樹高 29 m

【解説】

現地は、前述のミズメ等多くの巨木が生育している「和尚山温帯性植物群落保護林」内にある。

この木は枝の位置が高すぎ葉の採取等ができないことから、双眼鏡で葉を観察したところ、奇数の羽状複葉で小葉が互生であった。秋の落葉時期に葉軸を拾って見たところ無毛であること、基部に葉柄内芽が抜けたような跡があることからフジキの可能性が高いと判断している。

フジキを図鑑で調べると、まれに山中に生えるとあるので、フジキかエンジュかどちらの樹種かは確定できないが、これだけの巨木と出会えたことは幸運である。

【所在地】

北茨城市関本町小川字和尚山国有林1013ね林小班内

北緯36°54′29″ 東経140°35′52″ 付近